

第129回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2023年1月4日（水）18：30～19：55

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 13名

3 会議内容

<新規提案>

（1）キッズサバイバー講座（地震編）

【概要】

- ・子育て世代の家族を対象にした防災イベントを行いたい。防災の講座の他、応急手当やAEDの体験を行う。
- ・家族で参加して、災害対応や応急手当について考えるきっかけをつくりたい

【意見】

- ・去年の11月に開催した時は、友達3人と保護者1人の参加グループがあったが、家族単位での参加を基本としたほうがよいか。

家庭の中で考えるきっかけとしたいので親子での参加が望ましいが、過去に子どもだけの参加者もいた。1～2年生は保護者の補助がいるし、子どもだけの参加が多くなると対応が難しい。2～3人なら問題ないが、基本は親子参加とする。

（2）交流フロアで夢をかなえる講座

【概要】

- ・11月に「講習会はじめの一步講座」として発案した企画の改訂版
- ・趣味や特技など自分のやりたい事、伝えたい事を交流フロアでイベントとして実現できることを伝えて、交流フロア運営会議の仲間をもっと増やしたい
- ・やりたい事を企画書に落とし込む方法や、実際のイベント実施までの流れを、今まで何度もイベントを実施してきた経験をもとに伝える。最後に企画内容の発表をする
- ・対象は「夢がある人」。小学生以下の参加者が来た場合は保護者に企画書を代筆してもらう

【意見】

- ・イベント内容に『発表資料・配布資料作成のポイント』と記載されているが、企画書作成に

追加して行うのか？

例示のみ。これまで開催してきたイベントをどのように進行してきたのかの説明に使う

- ・最後に考えた企画を発表する時間があるが、実際にイベントをするときは、運営会議の場での発案がいるため、この講座のみではイベント実現とはならないことを明示したほうがいい。
- ・交流フロア運営会議の場でやりたいことを言えば、そこで実現に向けて必要な意見が集まるのだから、直接運営会議に参加すればいいのではないか。
- ・初めてイベントを企画、発案するときに、経験豊富な方のアドバイスを事前にもらえる機会は貴重だと思う。
- ・交流フロアでイベントをしたい人を「夢がある人」と表現するのは違和感がある、他に「自分の思いを形にする」ことが表現できる言い方はないだろうか。
- ・「運営会議での発案まで」と、その後の「イベント実施・進行」まではわけて講座を行った方がわかりやすい。
- ・わかりやすい企画書の書き方が分かる講座は良いと思う。
- ・運営会議はざっくりとした企画から、みんなでワイワイ考えて面白いイベントが生まれる場でもあると思うが、2~3行しか書けていない企画書を発案しやすいようにアドバイスしてくれる場は良いと思う。

(3) ミライの名刺をつくろう！

【概要】

- ・2021年12月・2022年8月に実施したワークショップの第3弾を春休み企画として開催したい。
- ・大人と子どもが一生涯にキャリアや仕事について考えるきっかけとし、本で調べることにもつなげる。
- ・ワークシートを元にミライでどんな仕事をしたいか考えて、名刺をデザインする。時間があれば印刷し、名刺交換を行う。
- ・8月は名刺の印刷時間も考えて2日にわけて実施したが、参加ハードルが高くなり参加人数が減ってしまったため、今回は半日での開催としたい。ただ、ワークシートを埋める 名刺をデザインする 名刺を印刷し交換する、という ~ の工程を半日で行うのは難しい。キャリアを考えるには が重要だが、これまでの開催で一番盛り上がったのは の名刺交換。ワークシートを優先して名刺は後日お渡しとするか、名刺作成を優先してワークシートについては保護者に進め方を説明して家で考えてもらうか、長くなるが間に印刷のための休憩時間を設けて全て実施するか、どういいう開催方法がいいか意見を伺いたい。

【意見】

- ・開催時間が最大2時間となっているが小学生の集中はもつのか

過去のイベントでは1・2年の参加者が多かったが、保護者の方と会話しながら進めていたためか、集中はもっていた。途中飽きて他の事をやっている子もいたが最後はしっかり作り上げていた。

- ・ワークシートはどんな内容か

例えばケーキ屋さんならば、どんなお客さんに来て欲しいのかや、どんな場所に店を開きた

いかなどを書いて、夢を具体化していく

・ワークシートを使わない場合は、具体化の作業が省略するということが。

その通りで将来やりたい仕事について自由に書いてもらうことになる

・ワークシートを使った場合と使わない場合で仕上がりに差はでるのか。

ワークシートを使うことで、自分の想像を膨らませていくプロセスがある分、今ない職業が出てくることがある。やらないと自分の知っている職業になる。一方で自由に書いてといえ、それなりに書いてくれるかなとも思う。

・学校でキャリア教育はいつからはじまるのか。その学年によって、実施内容を考えてはどうか。

・ワークシートを使って自分のしたことの再確認をするのか、名刺交換をして大人の気分を味わうのか、どちらを主にするかによって進行方法が変わると思う

元々の中心はワークシートで考えること。ただ、低学年は文字化が難しかったり、アンケートが一番楽しかったのは名刺交換という感想があったりしたので、優先順位をつけ辛い。対象を高学年に絞るべきかどうかなど、再考する。

(4) ロール紙で落書きアートしよう！

【概要】

・過去に交流フロアでイベントを行った際に交流した幅 90cm x 20m 位のロール紙が余っているため、活用できるイベントを行いたい。

・ソーシャルディスタンスが基本となった中で、みんなで集まってわちゃわちゃしくなっている。そのなかで偶発的に生まれていたアイデアなどが、生まれ得ない状況にある。そこで、距離をたもてるよう、大きい紙を用意してやってみたい事や見てみたいところなど自由に書いて交流フロアに張り出すことで、参加者同士や掲示をみた来館者が間接的に交流できるようなものをつくりたい

・ロール紙の他の活用方法あれば提案してほしい

【意見・感想】

・どんな感じで書いていくのか。

ブルーシートを床に引いて、巻物みたいに広げていく。できるのなら一定期間壁に貼っておいて自由に落書きできる形がいいが、壁にはみ出さないように管理が必要となるため、床にする。

・鉛筆だとロール紙が破れそう。

・ロール紙の真ん中に道路を書いて商店街や町を考えるのはどうか。未来の 171 号線とか。

・やってみたい事や見てみたいところなど自由に書いてもらうということだが、具体的なテーマは設定するのか

なにかしらテーマを置いた方がいいのかなとも思うが、自由に描いてもらって何が完成するのも気になる。

・テーマがないとただ落書きを楽しむイベントになると思う。それでもいいのかもしれないが、他に目的があるのであればテーマはひつようだと思う。

・参加者それぞれで自由に落書きをした後に、後付けでストーリーをつけるのも面白そう。

・巨大折り紙を作ってそれに落書きをするのも楽しそう。折り紙なら家に作品を持って帰ることができる。

(5) スマホでどこでもできる「ことば蔵の本の検索・予約・貸し出し状況の確認」講座

【概要】

・ことば蔵に出向かなくても、いつでもどこでもスマホで「本の検索・貸出状況の確認・本の予約」ができるが、意外にまだその認知度は低く利用方法を知らない方が多いと思う。図書館とスマホの親和性の良さを知ってもらいさらなる図書館の有効活用と教養の向上(本離れ対策)につなげたい。

・時間があれば、実際に使ってみて有用だった本に関するスマホアプリ(本の購入・閲覧、要約、オーディオブック)などを紹介したい

【意見・感想】

・図書館の使い方よりは、後半のサービス紹介の方が需要はあるのではないかと
・図書館職員としては、インターネットサービスの使い方の問い合わせはけっこうくるので、求められている講座だと思う。

・どれだけ参加があるかはわからないが、スマホが苦手な参加者はイベント中に分からないことを質問したくなると思う、それに対応する補助の人員が必要だと思う。

来てもらうようにするが、都度ここまでは大丈夫かと声掛けを行うようにする

・司書にいてもらってはどうか
・実際に予約して、借りるまでを体験できれば自信がつくと思う
運営上難しい、後々体験してもらえれば(図書館)
・有用なサービス紹介について、有料サービスを参加無料のイベントで押し出し過ぎるのは違和感がある。軽い紹介におさめてはどうか。

< イベント実施報告 >

(1) 知的書評合戦ビブリオバトル

・参加者はバトラーが4人と観戦者が2名。今回はチャンプ本に選ばれると、3月に開催されるビブリオバトル全国大会の予選会への出場権を得られる選考会を兼ねており、テーマを指定せず、自由に発表を行った。チャンプとなったバトラーが運営会議に参加していたため、その場で意気込みを語った。

次回は3月21日(火・祝)14時～ テーマ「春に読みたい本」で開催

(2) 漫画を語ろう!

参加者は7人。テーマは「考えさせられる漫画」考察が盛り上がる漫画や、経済理論を学べる漫画、人生とは何かを考えさせられる哲学的な漫画など、様々な作品が紹介された。

次回は1月25日(水)18時30分～ テーマ「漫画の1巻について語る」で開催

4 次回の運営会議 2023年2月1日(水) 18:30~ ことば蔵1階 交流フロア